


# J.T.S.

## ユーザーマニュアル

Loupedeck・Stream Deck・互換コンソール対応のユニバーサルクライアント

バージョン 0.1 · Junk That Sucks

# 目次


1 J.T.S. とは

2 インストール

3 常駐

4 コンソールの接続

5 画面構成

6 プロファイルとページ

7 コントロールの設定

8 ノブの精度

9 色と背景

10 言語

11 高度なカスタマイズ（XML）

12 トラブルシューティング

# 1 J.T.S. とは

J.T.S.（Junk That Sucks）は、あらゆるコントロールコンソールに対応するひとつのクライアントです。Loupedeck、Razer Stream Controller、Elgato Stream Deck の全シリーズ、Corsair Galleon K100 に対応します。接続されたコンソールを自動で認識し、前面のアプリのプロファイルを読み込み、キー・ノブ・タッチストリップをショートカット、マウス操作、各ソフトへのコマンドに変換します。

主な特長：

- **拡張性**：コンソール、プロファイル、言語、アイコン、テーマ、背景はすべて XML ファイルまたはフォルダーで、プログラムを変更せずに追加できます。
- **カスタマイズ**：各キーにラベル、アイコン、色、1 つ以上のアクションを設定できます。インターフェース、シナプス、光の点の色はそれぞれ選べます。
- **速度と精度**：入力は遅延なく処理され、加速の調整やカーソル・スライダー用の精密モードを備えています。

# 2 インストール

- **macOS**：`JTS-…-mac-arm64.dmg`（Apple シリコン）または `mac-x64`（Intel）を開き、J.T.S. を「アプリケーション」へドラッグします。DMG からではなく「アプリケーション」フォルダーから起動してください。署名されていないため、初回は右クリック →「開く」を使用します。
- **Windows**：`JTS-…-win-x64.exe` を実行するか、ポータブル版を使用します。SmartScreen が表示されたら「詳細情報」→「実行」を選びます。
- **Linux**：AppImage または `.deb` パッケージを使用します。付属の udev ルール（`50-jts.rules`）をインストールすると、root 権限なしでコンソールにアクセスできます。

> macOS では J.T.S. に**アクセシビリティ**の許可を与えてください（システム設定 → プライバシーとセキュリティ）。ショートカットの送信やマウス操作に必要です。アプリに表示されるボタンから設定を直接開けます。

> Loupedeck コンソールでは、USB ポートを占有する公式ソフト（Loupedeck / Logi Plugin Service）を終了またはアンインストールしてください。設定の「競合するメーカーソフトを終了」を有効にする方法もあります。

# 3 常駐

インストール後、J.T.S. はログイン時に自動で起動し、バックグラウンドで動作し続けます。

- **macOS**：右上のメニューバーのアイコン。
- **Windows**：右下の通知領域（時計の隣）のアイコン。

- **Linux**：パネルのシステムトレイのアイコン（GNOME では AppIndicator 拡張機能が必要）。

ウィンドウを閉じても非表示になるだけです。アイコンのメニューから J.T.S. を開く、接続中のコンソールとアクティブなプロファイルを確認する、自動プロファイルやログイン時の起動を切り替える、終了する、といった操作ができます。

> J.T.S. はメニューバー右側のシステムアイコンの隣に自動で配置されるため、ノッチのある MacBook でも見えます。⌘ を押しながらドラッグすると移動できます。Windows では隠れているインジケーターからタスクバーへドラッグします。

## 4 コンソールの接続

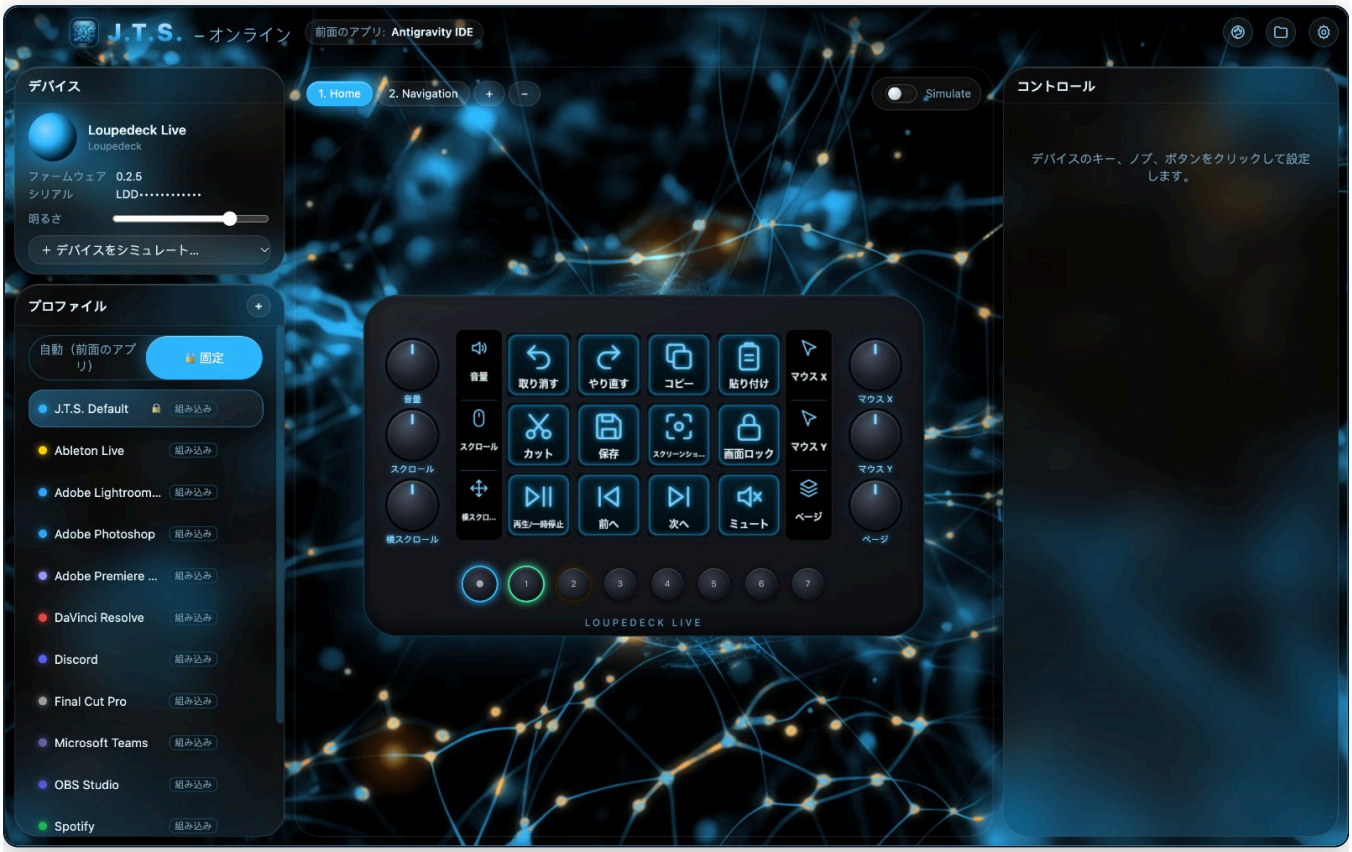
コンソールを USB で接続すると、J.T.S. が数秒で検出し、モデルに合わせて設定し、読み込んだプロファイルを通知で表示します。コンソールは画面上に表示され、キーは実機とまったく同じように描画されます。

対応コンソール：

| メーカー | モデル |
| --- | --- |
| Loupedeck | Live、Live S、CT（v1・v2） |
| Razer | Stream Controller、Stream Controller X |
| Elgato | Stream Deck Original、MK.2、Mini、XL、Neo、+、+ XL、Pedal、Studio、6/15/32 モジュール |
| Corsair | Galleon K100 SD |

ハードウェアがなくても、**デバイスをシミュレート**で任意のモデルのプロファイルを準備できます。

# 5 画面構成




メインウィンドウ：左にデバイスとプロファイル、中央にコンソール、右にエディター。

- **デバイス**：モデル、ファームウェア、明るさ。
- **プロファイル**：プロファイルの一覧。*自動* では前面のアプリに合わせて切り替わり、*固定* では変わりません。
- **コンソール**：上部にページがあります。コントロールをクリックすると編集できます。*Simulate* を有効にする（または Alt クリックとホイール）と、押下や回転をシミュレートできます。
- **コントロール**：選択したキー、ノブ、ボタンのエディター。
- **システムログ**：設定 →「システムログを開く」または J.T.S. アイコンのメニューから独立したウィンドウで開き、イベント・接続・エラーを表示します。

# 6 プロファイルとページ

各プロファイルは 1 つ以上のアプリに関連付けられ、そのアプリが前面に来ると J.T.S. がプロファイルを読み込みます。Lightroom Classic、Photoshop、Premiere Pro、DaVinci Resolve、Final Cut Pro、OBS Studio、Spotify、Zoom、Teams、Discord、Web ブラウザー、VS Code、Ableton Live 用のプロファイルが付属しています。割り当てのないコントロールは *J.T.S. Default* プロファイルから継承されます。

- **新規プロファイル**（+）：名前を付け、必要に応じて前面のアプリに関連付けるか、既存のプロファイルを複製します。

- プロファイルの ⋯ **メニュー**：複製、XML を書き出す、削除。
- **ページ**：＋ と − で追加・削除します。Loupedeck では丸ボタンでページを切り替えます。● は最初のページに戻り、1–7 はページ 1–7 を開きます。LED が現在のページを示します。

## 7 コントロールの設定

コントロールを選択して設定します。

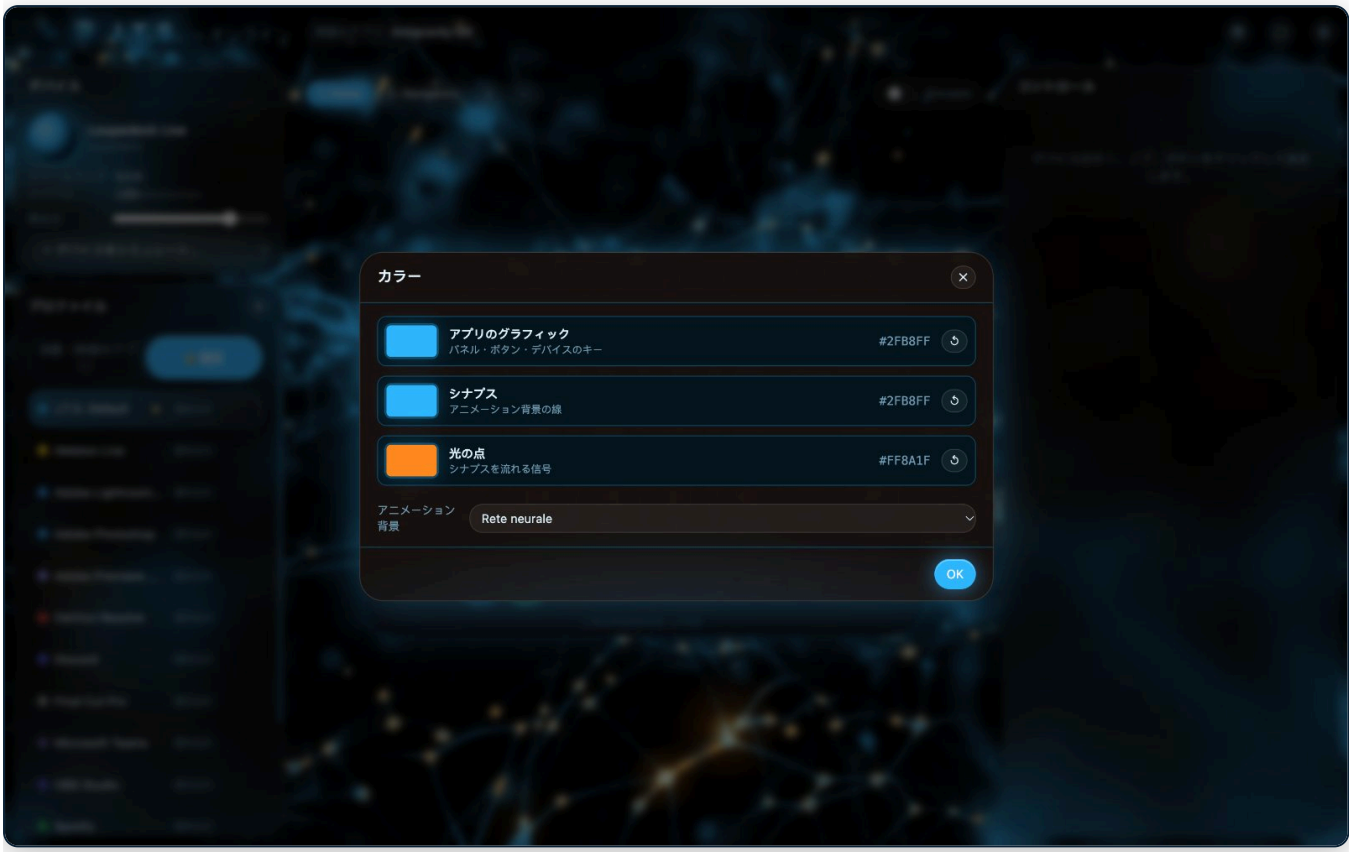
- **ラベル**、**アイコン**（*jts-core* セット、追加セット、アプリのネイティブアイコン）、背景と文字の**色**。
- **アクション**：キーは *押したとき・離したとき・長押し*、ノブは *右回転/左回転・回転時*（量付き）・*押したとき*。
- **保存**（または ⌘S / Ctrl+S）を押します。変更はプロファイルのユーザーコピーに保存されます。

| アクション | 用途 |
| --- | --- |
| キーボードショートカット | `mod+shift+z`（mod は Mac では ⌘、その他では Ctrl）、または mac/win/linux ごとの値 |
| 押している間キーを保持 | コントロールを押している間キーを押し続ける |
| テキスト入力・待機・シーケンス | テキスト、待ち時間、マクロ |
| マウスカーソル移動・スクロール・クリック | サブピクセル精度のマウス操作 |
| メディアキー | 再生/一時停止、次へ、音量、ミュート |
| アプリ/ファイル/URL を開く・コマンド実行・HTTP リクエスト | プログラム、スクリプト、Webhook の起動 |
| ページ・プロファイル・明るさ | コンソールの操作と設定 |
| OBS | シーン、配信、録画、ソースのミュートと音量 |

## 8 ノブの精度

- **感度**：1 クリックあたりのステップ数。小数も使えます（0.5 = 2 クリックごとに 1 回）。
- **加速**（なし・リニア・指数）と**強さ**：速く回すほどステップが増えます。
- **微調整モード**：ノブを押しながら回すと速度が落ち、細かな調整ができます。
- **タッチストリップ**：Loupedeck 左右のストリップを指でなぞると、対応するノブを高解像度スライダーのように操作できます。

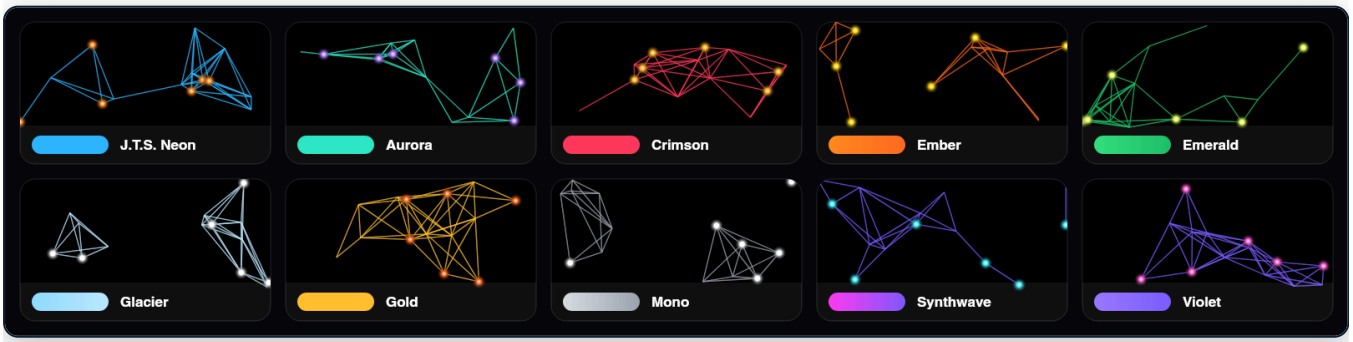
# 9 色と背景




カラーパネル：アプリのグラフィック、シナプス、光の点はそれぞれ独立した色です。

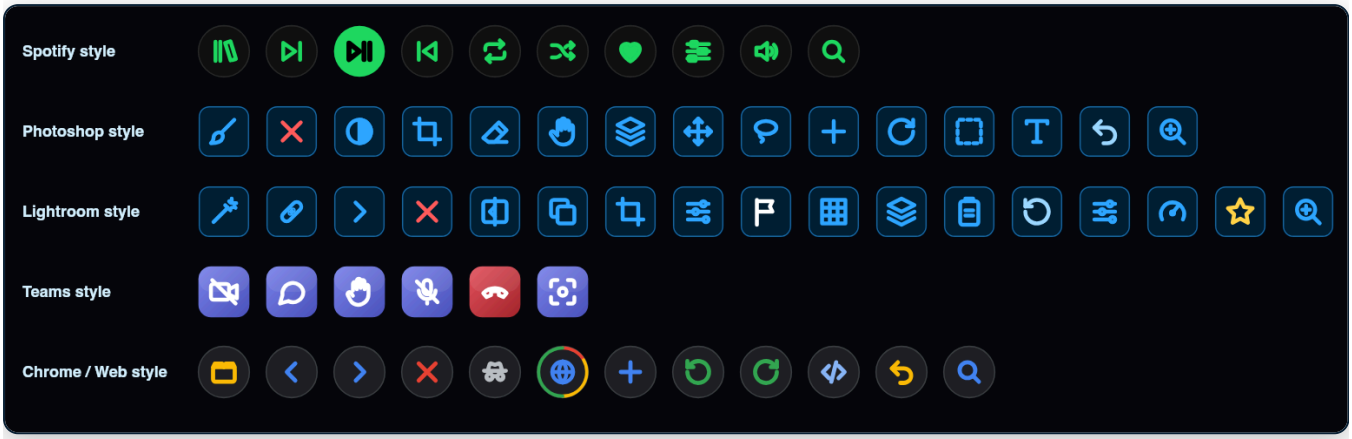
上部のパレットボタンで**カラー**パネルを開きます。各色は Photoshop 風のカラーピッカー（彩度/明度フィールド、色相バー、HSB・RGB・16 進数の値）で選びます。背景は常に黒のままです。同じパネルに**アニメーション背景**の選択があります。*ニューラルネットワーク*を内蔵し、ほかの背景はライブラリ（`backgrounds`）から追加できます。

**グラフィックスタイル**（設定）：リキッドガラス、カットガラス、すりガラス、スモークガラス、アンバーガラス、クラシックネオン。スタイルはパネルとボタンの素材と形だけを変え、色とアニメーション背景はそのままです。**発火の速さ**と**発火の量**のスライダー（×0.2〜×3）でシナプスのアニメーションを調整します。




内蔵の 10 テーマ。

**テーマ**（設定）：J.T.S. Neon、Aurora、Synthwave、Ember、Crimson、Emerald、Gold、Glacier、Violet、Mono。テーマはインターフェース、キー、シナプス、光の点の色を設定し、選ぶとカラーパネルのカスタマイズはリセットされます。新しいテーマは `themes` フォルダーの XML ファイルで作れます。




Spotify・Photoshop・Lightroom・Teams・ブラウザー用のカラーアイコンセット。

**カラーアイコンセット**：*jts-core* に加え、Spotify・Photoshop・Lightroom・Teams・ブラウザーのプロファイルは各ソフトのビジュアルスタイルに合わせたカラーセット（オリジナルの描画）を使います。エディターのアイコン選択から選べ、新しいセットはライブラリ `icons` に SVG/PNG のフォルダーとして追加します。

## 10 言語

J.T.S. はイタリア語、英語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、日本語、アラビア語に対応しています。設定で言語を選ぶか、システム のままにします。言語を追加するには、`lang` フォルダーのファイルをコピーして翻訳し、読み込みます。

## 11 高度なカスタマイズ（XML）

設定 → ライブラリでユーザーフォルダーが開き、`devices`、`profiles`、`lang`、`icons`、`themes`、`backgrounds`、`plugins` のサブフォルダーがあります。保存したファイルは自動で再読み込みされます。

- **devices**：新しいコンソール（ドライバー、USB ID、ディスプレイ、コントロール、外観）。
- **profiles**：プロファイルとアプリの関連付け。
- **icons**：アイコンセット（SVG/PNG のフォルダー）。
- **backgrounds**：`tools/gen-backdrop.cjs` で任意の画像から作るアニメーション背景。
- **plugins**：JavaScript による新しいアクションとドライバー。

## 12 トラブルシューティング

- **コンソールが検出されない**：メーカー公式ソフトを終了し、ケーブルや USB ポートを替え、システムログを確認します。
- **ショートカットが効かない（macOS）**：アクセシビリティを許可し、J.T.S. を再起動します。
- **起動が遅い**：DMG ではなく「アプリケーション」フォルダーから起動し、プロセッサーに合った版を使います（arm64 = Apple シリコン）。
- **Linux**：udev ルールをインストールし、コンソールを接続し直します。